

教 科
音 楽

種 目
音 楽

発行者
17 教 出

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の三つの柱がバランスよく育成されるよう、教材の配列に工夫が見られる。学習のねらいと、学び方を示唆する「まなびナビ」が記載され、題材ごとの学習の見通しがもちやすく配慮されている。また、音楽を形づくっている要素が明記されている頁がある。中学年以降は「メモ欄」も設定され、児童が書き加えることで学習が深めていけるよう配慮されている。 ・音楽を形づくっている要素を要とし、演奏のための技能を身に付けるような教材の選択や扱いに配慮され、系統的・発展的に学ぶための教材配列となるよう意識されている。 ・児童が主体的に取り組みながら学びを深めるために、身体表現を取り入れた学習活動が設定されている。また、2 学年以降では、導入部分に常時活動「スキルアップ」コーナーがあり、基礎的な技能を高め、学びが深まるような学習活動を位置付けている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべ歌やお囃子、お祭りの音楽、民謡を取り上げ、太鼓、篠笛、箏などの和楽器に親しむ教材がある。民謡に親しむことができるよう、6 年生に「八木節」の合奏の楽譜が掲載されている。岐阜県に関わって、5 年生に「郡上八幡の盆踊り」の写真が掲載されている。 ・二次元コードが目次についており、「見る」「聴く」「知る」コンテンツがある。コンテンツ数が豊富で、動画も多い。教材の補足的な説明を扱っている。 ・音楽活動を通して、発達の段階に即した技能の定着が図れるよう、配慮されている。巻末には、音楽を表すいろいろな言葉が掲載しており、言語活動に生かすことができる。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の教科書が他学年の教科書よりも小さくなっており、教科書の大きさに発達の段階に応じた配慮がされている。 ・レイアウトや配色・表現方法が工夫されている。折り込みを使ったワイドな写真が掲載されている。 ・巻末に音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として掲載している。3 年生と 5 年生には、透明シートを用いたページがある。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに、音楽を形づくっている要素が示され、音楽を特徴付けている要素や、音楽の仕組みを意識しながら見通しをもって学習を進めていくことができるよう配慮されている。 ・透明シートや折り込みページ等、児童が憧れを抱いたり、イメージを膨らませて音楽活動に取り組むことができたりするよう配慮されている。

教 科
音 楽

種 目
音 楽

発 行 者
27 教 芸

調 査 項 目	意 見
<p>1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資質・能力の三つの柱がバランスよく育成されるよう、音楽を形づくっている要素を要とした題材構成となっている。見開きごとに題材のねらいが記載されていることや全ての教材曲のページ下に音楽を形づくっている要素が明記されていることで、児童もその働きを十分意識しながら学ぶことができる。全学年を通した系統性と題材間の系統性・発展性が感じられる学習内容、構成、配列となっている。 音楽を形づくっている要素を要とし、1つの題材の中で、歌唱・器楽・鑑賞の活動を通して系統的・発展的に学ぶことができるよう、教材配列や内容に十分配慮されている。 児童の思いや意図を実現するためのヒントが、子どものキャラクターによる吹き出しで示されており、子ども同士の言語活動をより充実させ、主体的・対話的な学びができるよう配慮されている。また、音によるコミュニケーションが図れる教材やコラムを設け、音や音楽を通して、仲間と共に楽しみながら対話的な学びが深まる学習活動が適切に位置付けられている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> わらべ歌や民謡、お祭りの音楽に加え、古典芸能も取り扱っており、和楽器に親しむ教材が幅広くある。また、コラムや写真を用いて我が国や郷土の音楽に親しみ、愛着がもてるよう十分に工夫されている。岐阜県に関わって、4年生では「高山祭の屋台行事」の写真、5年生「郡上節」の記載がある。また、3年生では巻末の国歌「君が代」に、岐阜県のさざれ石公園が写真で紹介されている。 「見る」「聴く」「知る」「聴き比べる」コンテンツがある。二次元コードが、用意されているページに位置付いており、見出しもあるため、何についてのコンテンツなのかよく分かり、目的をもって見ることができる。 音楽活動を通して、音楽を形づくっている要素を捉えたり、無理なく技能を習得したりすることができるよう配慮されている。また、キャラクターの吹き出しにより、ヒントや考えるきっかけが示され、自分の考えをより広げたり、深めたりすることができる。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさや重量は、全学年同じである。 吹き出しや解説は無地を基調とし、音符や歌詞のフォントが大きい。 巻頭には、「学びの地図」があり、1年間の学習の見通しをもつことができる。巻末資料には、ふり返りのページがあり、学習したことを確認したり、活用したりできるよう配慮されている。
<p>4 総評</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各教材を、音楽を形づくっている要素で貫き、児童の発達の段階と系統的な学習の流れを組んだ題材構成により、学んだことを関連付けたり、活用したりしながら学習を積み重ねていくことができるよう配慮されている。 児童が思いや意図をもって主体的に音楽と関われるような工夫や、仲間との対話的な活動により、学びが深まるような配慮がなされている。

教 科
図画工作

種 目
図画工作

発行者
9 開隆堂

調 査 項 目	意 見																								
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の三つの柱に基づいて題材の目標を設定し、その中の一つを重点目標とし、重点目標に対応したキャラクターがヒントを導き、題材の末尾には重点目標の振り返りを示すことで児童が学習の振り返りをできるようにしている。 ・全表現題材数について、絵>工作>造形遊び>立体と領域に偏りがある。全鑑賞題材数は6である。 ・主体的・対話的で深い学びの実現について、キャラクターがヒントを投げかけ、児童が学習を深められるようにしている。 																								
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県の特徴的な題材である粘土と木版画の題材について、以下の量を取り上げている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1・2上</th> <th>1・2下</th> <th>3・4上</th> <th>3・4下</th> <th>5・6上</th> <th>5・6下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘土</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>版(木)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>1</td> <td>6(2)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用について、多くの題材において二次元コードを掲載し、タブレットがある場合には活用できる。5・6上(p47)で体験的に表現に活用できる題材が掲載されている。 ・多様な学びの支援について、5・6上(p45)で障がい者福祉の観点から「パラリンピック」を取り上げている。 	学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計	粘土	2	3	2	3	3	1	14	版(木)	1	1	1	1(1)	1(1)	1	6(2)
学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計																		
粘土	2	3	2	3	3	1	14																		
版(木)	1	1	1	1(1)	1(1)	1	6(2)																		
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の総ページ数：全学年57頁 ・巻末の材料や用具の扱い、学び方について、発達の段階に応じて、写真を多く使いながら示している。比較資料「絵の具の使い方」(3・4上p50, 51) ・目次頁について、見開きになっており、目次頁を開いた状態で他の頁を見ることができるよう工夫されている。1題材を1頁または2頁で掲載している。 																								
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が関心をもつ題材を取り上げ、全ての題材で資質・能力の三つの柱に基づいた目標が表記されており、児童が自分で振り返りをできるように配慮されている。 ・低学年から、日本の伝統文化を無理なく取り上げたり、外国の子どもや作家の作品を取り上げたりするなど、児童が生活や社会の中の形や色などに関わりをもてるように配慮されている。 																								

様式 2

教 科
図画工作

種 目
図画工作

発行者
116 日文

調 査 項 目	意 見																								
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 資質・能力の三つの柱に基づいて題材の目標を具体的に設定し、児童が振り返りをしやすくなっている。特に、学びに向かう力、人間性等について、題材の末尾に示すことで児童がどの題材についても常に振り返りができるように工夫されている。 全表現題材数について、絵>工作≒立体≒造形遊びと領域を概ねバランスよく取り扱っている。全鑑賞題材数は11である。 主体的・対話的で深い学びの実現について、キャラクターが具体的にヒントを投げかけ、どの題材においても児童が学習を深められるようにしている。 																								
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県の特徴的な題材である粘土と木版画の題材について、以下の量を系統的・発展的に取り上げている。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1・2上</th> <th>1・2下</th> <th>3・4上</th> <th>3・4下</th> <th>5・6上</th> <th>5・6下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘土</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>版(木)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>6(3)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ICTの活用について、デジタルカメラを活用した題材を3・4上以降で継続的に掲載している。 多様な学びの支援について、5・6上(p2)で障がい者福祉の観点から「アール・ブリュット」を取り上げている。 	学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計	粘土	5	2	3	2	2	2	16	版(木)	1	1	1	1(1)	1(1)	1(1)	6(3)
学年	1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	合計																		
粘土	5	2	3	2	2	2	16																		
版(木)	1	1	1	1(1)	1(1)	1(1)	6(3)																		
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の総ページ数：1・2上66頁、その他65頁 巻末の材料や用具の扱い、学び方について、写真やイラストを使いながら、内容を精選し、必要なところを大きく取り上げてわかりやすく示してある。比較資料「絵の具の使い方」(3・4上p58, 59) 目次頁について、左に領域マークがあり、右に題材名と頁があって、必要な情報がわかりやすく示してある。全ての題材を2頁で見やすく掲載している。 																								
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 本地区で扱いやすい題材をバランスよく取り上げ、全ての題材で資質・能力の三つの柱に基づいた目標が具体的に表記されており、児童も教師も扱いやすいようによく配慮されている。 本地区図画工作科指導の課題である〔共通事項〕について、製作中の児童の吹き出しや作品の作者の声の中に明記され、造形的な創造活動が大切にされるようによく配慮されている。 																								

様式 2

教科
家庭

種目
家庭

発行者
2東書

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・大題材で設定し、「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3つのステップで問題解決学習を展開している。この3ステップを繰り返すことで、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の3つの柱をバランスよく育成できるように十分工夫されている。 ・実践的・体験的な活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けることができるように、系統性を配慮し段階的に学習できる配列となっている。 ・4年生までの教科学習とつないだガイダンスや資料、学習を振り返って自分の成長を実感できる「成長の記録」等、見通しと振り返りを大切にし、主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。 ・各題材で大切にしている生活をとらえる視点を「家庭科の窓」として題材のはじめに位置づけ、さらに学習過程における吹き出しで見方・考え方を具体的に示し、主体的に学ぶことができるように配慮している。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住に関わる伝統文化のみでなく、日本料理の料理人・地域の文化を守る会の方・もったいない等、伝統文化を支える人や言葉・行為について、学習資料とし、発展的に学習できるように配慮している。 ・巻頭に二次元バーコードが掲載されており、包丁の扱い方や裁縫に関わる基本事項にかかわる動画を閲覧できる。自分で課題を解決しながら主体的に技能を身に付けることができるように配慮されている。 ・各題材の最後に「深めよう」を設定し、家庭で実践する計画を立てる構成になっている。学期末には、生活の課題と実践の例が示されており、課題解決に向けたステップが分かりやすく掲載されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判、持ち運びの負担軽減が図られている。ユニバーサルデザインの観点から配慮した書体やカラーを使用するとともに、字間をそろえて見やすくしている。 ・イラストや写真を使って手順等を示し、児童が自分で確認しながら主体的に学ぶことができるように配慮されている。また、巻末には使用頻度の高い資料を実物大の写真で掲載し、活用しやすくしている。 ・「安全」「環境」「伝統」等、特に留意すべき視点を強調するため、各種マークを用いて表現している。目次では、各題材の内容がマークを使って表現され、内容の関連を把握しやすいように配慮されている。家庭科に関係のある英単語とその日本語訳を脚注に掲載し、小学校英語との関連も図っている。
4 総評	<p>全大題材において、問題解決的な学習が3ステップで展開されている。学習内容は、基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列され、家庭実践への発展や他教科の学習との関連も示しながら学習が深まるように工夫されている。繰り返し積み上げていくことで、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成できるように配慮されている。児童が興味・関心を高めるような実践的・体験的学習活動が例示され、実物大の写真等で確かめながら主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</p>

教 科
家 庭

種 目
家 庭

発 行 者
9 開隆堂

調 査 項 目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・小題材で設定し、「見つける・気付く」「わかる・できる」「生かす・深める」という生活における問題解決の過程を大切にした構成である。生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の3つの柱をバランスよく育成できるように十分工夫されている。各学年において学習を貫くテーマを掲げ、目指す方向を明確にしている。 ・実践的・体験的な活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けることができるように、系統性を重視し、平易なものから段階的に学習できる適切な配列となっている。 ・4年生までの教科学習とつないだガイダンスや資料、時間軸と空間軸で整理した学習の見通し、各題材の学習のめあてと振り返りの位置づけ等、見通しと振り返りを大切に、主体的に取り組むことができるような工夫が十分になされている。 ・生活の営みに係る見方・考え方を要所に位置づけ、各題材の中で具体的な学習のヒントとして吹き出しで与えることで、主体的に学ぶことができるように配慮している。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・和食の基本となるだしの種類や季節に合わせた着方や住まい方等、日本の伝統的な文化について学べるよう配慮している。巻末資料には、生活の中にある伝統文化を衣食住のみでなく、行事も取り上げ掲載し、関心をもてるように工夫している。 ・関連ページに二次元バーコードが掲載されており、包丁の扱い方や裁縫に関わる基本事項等、必要な動画をすぐに閲覧できる。自分で課題を解決しながら主体的に技能を身に付けることが可能となる充実した資料である。巻末には、プログラミングの資料も掲載され、生活での活用に興味をもてるように工夫している。 ・各題材の最後に「生活に生かそう」を設定し、学習したことをどのように生かしたいかを考える構成になっている。生活の課題と実践の例がチャレンジコーナーで示されており、課題解決に向けたステップが分かりやすく掲載されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・AB判で軽量。ユニバーサルデザインの観点から配慮した書体やカラーを使用するとともに、字間をそろえて見やすくしている。 ・イラストや写真を使って手順やポイントが十分わかるように示され、児童が自分で確認しながら主体的に学ぶことができるように適切な配慮がなされている。また、巻末には使用頻度の高い資料を大版の写真で掲載し、活用しやすくしている。 ・「安全」「環境」「伝統」等、特に留意すべき視点を強調するため、各種マークを用いて表現している。生活に関連の深い用語について、各ページの下段に解説が設定されており、巻末には一覧と英語での表現が掲載されている等、言語活動の充実についても十分に配慮されている。
4 総評	<p>全小題材において、3つの過程を踏み問題解決型学習が展開されている。児童の発達段階に応じて基礎的・基本的な学習内容が系統的に配列され、家庭実践につなぐことにより学習が深まるように工夫されている。実践的・体験的活動により繰り返し学習することにより、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成できるように十分配慮されている。ポイントが明確な写真やイラスト、充実した動画資料によって、児童が調べながら主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</p>

様式 2

教 科
体 育

種 目
保 健

発 行 者
2 東 書

調 査 項 目	意 見 書
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「ステップ 3 (深める・伝える)」では、資質・能力をバランスよく育成できるように、「考える」「説明する」「話し合う」「他の人の意見を聞いて、考えたことや分かったことを書く」などの活動が適切に位置付けられている。 ・保健の内容について系統性のある指導ができるように、「つなげよう」マークが随所に設けられ、小学校の保健における他学年の内容との関連が適切に示されている。 ・主体的・対話的で深い学びになるように、「ステップ 1 (気づく・見つける)」で、問題意識を高めた上で、「学習の課題」を提示するなど、児童の気づきを大切にした学習活動が適切に位置付けられている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域における人々とのふれあいを写真やイラストで想起できるように工夫している。また、身近な地域の保健活動や保健に関わる職業について調べる活動が適切に設定されている。 ・デジタル教科書が発行され、ICT機器を活用したり、特別支援教育に対応したりすることができるように十分に配慮されている。 ・学習の進め方を各項目の冒頭で毎回示し、授業の見通しをもって学習ができるように配慮されている。固定的なイメージで性の区別をしないように、挿絵や写真で男子・女子の表現には十分な配慮がなされている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量で丈夫な再生紙が使用されている。 ・活動場面と本文とが明確に区別してあり、児童が読解しやすいように十分に配慮されている。 ・評価を行うことができる記入欄が十分に設けられている。また、指導経験の浅い教師が指導しやすいように十分な配慮がなされている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の気づきを大切にした課題提示、学んだ知識を生かして話し合う対話的な活動、自己を見つめる振り返りなど、児童の課題意識に沿った学習過程や学習内容が仕組まれている。主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が期待できる。 ・主発問と児童の思考を促す補助発問が効果的に配置され、スモールステップで指導できる構成になっており、指導経験の浅い教師でも指導しやすい工夫が十分になされている。

様式 2

教 科
体 育

種 目
保 健

発 行 者
4 大 日 本

調 査 項 目	意 見 書
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか、」	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りや話し合い、活用等の学習活動で構成してある。また、基礎的・基本的な学習内容を分かりやすい言葉で明示し、章の終わりには知識及び技能を定着させるための問題がある。 ・他教科に関連した教材が多く扱われており、それがよく分かるようにマークされている。また、発展的な学習内容については、中学校の保健体育で学習する内容も適切に記載されている。 ・家庭や地域での実践意欲を促すため、家で生活リズムを整える取り組みや、地域の危険場所を考えたりするなどの活動を取り上げるとともに、身近なことについて話し合う場が設けられている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第 5 学年の「けがの防止」では、安全マップを作成したり、第 3 学年の「一日の生活のしかた」では、地域の人にあいさつをすることに触れたりするなど、学習したことを家庭や地域で活用できるように工夫してある。 ・ホームページ上にデジタルコンテンツがあり、対応するページにはウェブマークがある。 ・子どもの誕生や成長を祝う外国の文化に関する記載や、悩みがある子どもの相談窓口の記載がある。また、拡大教科書が発行されているなど、様々な子どもたちや弱視者の使用に十分配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・A4 版で縦の長さが 4 cm 短くなっている。そのため、重量も 120 g と軽く、児童の持ち運びに十分配慮されている。 ・印刷はソフトで落ち着いている。イラストや写真は色遣いがおだやかで見やすい。本文の文字の間隔は広めである。また、製本は、針を使っておらず安全であり、開きやすい。 ・用紙は環境に配慮した紙が使用され、化学物質に敏感な児童に配慮して植物性インキが使用されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教科との関連についての記載や、中学校で学習することについての記載など、中学校での行う保健体育学習との接続がしやすくなるよう、よく工夫がされている。 ・大型化されている教科書の中で、サイズを小さく抑えてあるとともに軽量化されていてよい。

様式2

教 科
体 育

種 目
保 健

発行者
207文教社

調 査 項 目	意 見 書
1. 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「調べてみよう」「やってみよう」で、新たな知識を得たり、技能を習得したりできる。 ・社会に生きる人の話が、中学年教科書で一人、高学年教科書で一人、紹介されている。中学年教科書では、「生活リズム」の観点から、高学年教科書では、「心・技・体」の観点から述べられている。 ・各時間の終わりには、「新しい自分にレベルアップ」として記述する欄があり、自分ならどうするかと、主体的・対話的で深い学びができるように構成されており、各章末の「わたしの〇〇宣言」では、理解したことを踏まえて、自分の考えを伝え合う活動が位置付けられている。
2. 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中学年教科書では、学校で行われている保健活動がイラストで提示されている。高学年教科書では、健康を守る地域の活動について、多様な職業や取り組みをイラストや写真などで紹介している。高学年教科書では、「犯罪被害を防止するための取り組み」「防災減災のための市町村の取り組み」の記載がある。 ・ホームページにアクセスし、必要な情報を選択して資料を提示したり、動画を視聴したりすることができる。 ・心の健康の単元での「発展」では、個人差や性差に配慮した記述内容が取り上げられている。けがの防止の単元の「発展」では、より実践的な行動をとることの大切さが意識できるようにしている。
3. 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・中学年教科書は150g、高学年教科書は210gのA4版で、適切な重さである。 ・單元ごとの表題を色分けして記載している。ユニバーサルデザインに配慮して、色使いは柔らかい色合いになっている。 ・身に付けさせたい知識欄は、背景が薄黄色にしてあり、キーワードは太字ゴシックになっている。
4. 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興味関心を持ち、自分自身の課題を見付け、考えたりやってみたりして学べるようになっている。 ・自分のこととして捉え、単元末に自分の考えを表現する場の設定がある。

様式 2

教 科
体 育

種 目
保 健

発 行 者
208 光文

調 査 項 目	意 見 書
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識を活用して考える活動を多く取り入れたり、自分の生活にあてはめて考える活動を毎時間の最後に設定したりして、思考力・判断力・表現力を育めるよう配慮されている。 ・運動領域の「体ほぐしの運動」や特別の教科道徳をはじめ、算数、理科、家庭、社会といった他教科・他領域の学習との関連が十分図れるよう指導内容が取り上げられている。 ・「学んだことを生かそう伝えよう」の活動を設け、主体的に課題解決学習が行えるよう配慮されている。また、言語活動の充実を図るため、話し合い活動や記述する活動を取り入れている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の後にも家庭や地域に関連して調べる活動を設定し、実生活を見直したり、地域の人々とのかかわりを考えたりすることができるように配慮されている。 ・紙面に二次元コードを配置し、関連した動画コンテンツを手軽に見ることができるようにしている。学習内容に広がりをもたせ、より深く理解できるように十分な配慮がされている。 ・当該学年配当漢字や専門用語、当該学年以降に学習する漢字には初出だけでなく都度ふりがなを付け、児童の読みの負担を軽減している。また、拡大教科書とデジタル教科書が制作されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の負担感の軽減のために、紙の厚みを抑えて適切に、軽量化が図られている。 ・発達段階に応じた文字の大きさにしてあり、写真やイラストを大きくし、児童の興味関心を引くような工夫が適切にされている。 ・目次は、単元ごとに色分けをして記載されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された内容を、児童の発達段階や興味・関心に即して具体化し、身近な生活との関連を図って、日常生活での実践に結びつけることができるように配慮されている。 ・学習したことが単なる知識の習得に終わることなく、児童自らが学び、自ら考える「生きる力」を養い、健康的なライフスタイルを確立できるように配慮されている。

様式 2

教 科
体 育

種 目
保 健

発行者
224学研

調 査 項 目	意 見 書
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の三つの柱を育成するために、学習活動が「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」で構成され、児童が見通しをもって学ぶことができよう、学習の流れが位置付けられている。 ・保健分野と他学年、他教科の学習内容の系統性や中学校への発展性が「関連」マークによって適切に示されている。 ・課題解決するために、自分の学びを仲間に伝えたり、知識や考えを共有したりする協働的な学習の形態が示され、主体的・対話的で深い学びの場が設定されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを家庭や地域などで確かめたり調べたりする活動が位置付けられ、地域や家族とのコミュニケーションを促す工夫が十分になされている。 ・「学習者用デジタル教科書」や二次元コードを使用して、学習内容に関連した教科書サイトにアクセスしながら、学習できるように適切に動画が配置されている。 ・義足や車いすの選手、募金活動や海外の保健指導など、健康と関わる様々な活動や人々が写真で紹介されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の厚みを抑え、軽量化が図られている。 ・大きめの画像や資料を多く使用し、ユニバーサルデザインによる目に優しい配色のイラストや、フォントにも十分配慮がなされている。 ・見開き1ページの中に、十分な学習内容が位置付けられている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き1ページで学習の流れや学習活動の全体が一目で捉えやすく、児童にとって学びやすい紙面構成になっている。 ・主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善ができるように図られるように、資料を比較したり仲間と話し合ったりする課題解決の活動が適切に設定されている。

様式2

教科
外国語

種目
英語

発行者
2 東書

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 5学年は日本、6学年は世界を中心としたテーマで学習内容が設定され、各学年8単元が3つのテーマに区切られている。各単元は Starting Out から Over the Horizon までの4つのステップを繰り返し、各テーマ終末にある Check Your Steps で4技能5領域の学びを確かめる流れになっており、何ができるようになるのかを明確にする配慮が十分になされている。 読むことについては、6学年ですべての単元で4回ずつの活動が設定されている。書くことについては、5学年がアルファベット、6学年が文を書き写す活動等が設定されている。 国語や社会、道徳等と結び付いた題材を数多く位置付けて、教科を横断した学びができるよう工夫されている。また、別冊の Picture Dictionary は、前学年で学習した内容も掲載するとともに、中学校での学習での活用できるよう、よく配慮されている。 各単元の最初に Our Goal を示し、学習の見通しをもつことができるように工夫されている。また、Small Talk のトピックが数多く示されており、話すこと(やり取り)の育成につながる言語活動が行いやすいよう、十分に配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 日本を紹介する活動や、世界の国々を紹介する題材が設定されており、児童の興味や関心を高めるとともに、日本と世界の国々とのつながりについて学ぶことができるよう、十分に配慮されている。 二次元バーコードが非常に多く、話すこと(やり取り)でめざす姿を映像で確認でき、児童の主体的な学びを生み出すことができる。また、音声と映像を環境や必要に応じて選択することができるなど、ICT活用についてよく工夫されている。 Do you know? やことば探検等で個の気付きを促す問いかけを設定し、さらなる興味や関心の喚起につながるよう、十分に配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 大きさはA判で、厚みや重さも適切である。別冊 Picture Dictionary はコンパクトなAB判とし、長期間使用することを踏まえた十分な工夫がある。 児童の知的好奇心を高める効果的な写真が数多く掲載されている。また、4線の幅や基線の色を変える、新ユニバーサル書体を使用するなど、児童が読んだり書いたりしやすいよう、よく工夫されている。 巻末には鉛筆で書きやすい用紙を使用するとともに、カード一枚ずつにミシン目を入れて活用しやすくするなど、十分に配慮されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の3つのテーマの終末にある Check Your Steps に向かって、4技能5領域をバランスよく学び、終末でスピーチに挑戦し、自己評価で振り返りという構成は、児童にとって分かりやすいとともに、指導者にとっても指導の手順を明確に示すことができるような配慮となっている。 本冊だけでなく、別冊の Picture Dictionary にも二次元バーコードを位置付けたり、学んだ語彙をジャンル別に掲載するなど、児童の学びが広がるように工夫されている。

教科
外国語

種目
英語

発行者
9 開隆堂

調査項目	意見
1 学習指導要領(平成29年告示)に示された内容「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 5学年で身近な社会とのかかわり、6学年で世界とのかかわりを意図した構成になっており、児童の生活に即した題材配列の工夫がされている。また、単元の最初に学習の見通しをもつことができるようにし、スモールステップで活動を積み重ねながら、終末の Let's Try で振り返りができるよう、十分に配慮されている。 5、6学年両方に目的に応じた読む活動がバランスよく設定されている。書くことは、巻末の「文字に慣れよう」で、繰り返しかつ体系的に学習できるように構成されており、よく工夫されている。 5、6学年ともに社会や家庭等の他教科との横断的な内容が位置付いており、記号で明記されている。また、6学年の巻末の「中学校につなげよう」では、文法や発音に触れながら小学校の英語学習を振り返り、中学校英語への接続がスムーズにできるよう、十分に配慮されている。 各単元にペアワークやグループワークがあり、やり取りを通して友達に自分のことを伝えたり相手のことを聞いたりする活動が充実している。また、1ページ当たり1時間の構成で学習の見通しをもちやすくするとともに、モジュール授業も組みやすいよう、十分に配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> I love my town. (5学年)、Welcome to Japan. (6学年)、自分の住んでいる県の有名なスポーツ選手について調べよう(6学年)等、身近な地域や日本のよさを考える場面が設定されている。世界の国々の文化に関する単元やコーナーも多く、国際理解教育についてもよく配慮されている。 教科書に掲載されている二次元バーコードを読み取ることで、Let's Listen の内容を確認することができ、家庭でも繰り返し学習ができる。 「チャレンジ!」のコーナーではプログラミングや自分の町の紹介ポスター作り、中学校生活への期待など、個々の関心に応じて学びを深め、広げることのできる活動が位置付けられており、よく工夫されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書はAB判で、厚さや重さ、ページ数ともに適切である。 ユニバーサルデザイン書体、色の認識が困難な児童も見やすいように配慮されたカラーデザイン、4:5:4で基線が青の4線等、見やすくするため工夫が多くある。また、写真やイラストも多く、児童にとってとても分かりやすいよう、十分に配慮されている。 巻末の付録に英語の音声に関わる内容や、学んだことリストなどがあり、児童自身が付けた力を確認できるように工夫されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 対話的な学びを各単元に取り入れ、やり取りを通して実際のコミュニケーションに活用できる基礎的な技能を身に付けられる構成になっている。各単元において単語の習得から表現の習得へと段階を踏んで配列され、学ぶ児童にとっても指導者にとっても、何をどのように学ぶのか、何ができるようになればよいのかがよく分かり、使いやすい。 各学年に2回設定されているProjectでは、各単元で学んだことを活かしてより主体的に学びを広げ、深められるようになっている。

教科
外国語

種目
英語

発行者
11 学図

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに10単元の構成となっており、5単元ごとに復習を設定している。すべての単元において、2時間で一つの目標表現を繰り返しインプットする構成の工夫がある。また、それぞれの単元では、段階的に表現を学習するようになっており、児童の思考の流れに沿った言語活動を行う中で4技能5領域の力が身に付くよう、十分に配慮されている。 ・各単元で、十分に音声聞いた後に、その表現を書く活動が設けられている。各単元で学習する表現で構成された英文が、単元の終末に物語として位置付けられており、振り返りながら読むことができる工夫がある。 ・各学年の冒頭に設定されている Pre Lesson では、前学年までに学習した表現やアルファベットが提示されている。また、6学年の最後の単元では、中学校生活に向けた思いを話す活動が位置付けられ、児童が中学校への期待をもって学習できる内容となるよう、十分に配慮されている。 ・単元の最初に、学習の目標や具体的な言語活動の内容等を示し、児童が見通しをもちやすくするように工夫している。また、単元の終末では、表現の定着を確かめながら振り返りを行い、目標に対する到達度を確認することができるよう、十分に配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元では、日本の伝統的な遊びや祭り、国際的な名所や食べ物等を扱っている。また、文化や風習の違いを紹介するコラムも設けられ、文化の違いを意識しながら学習できるよう、十分に配慮されている。 ・各学年で文の音声と文、絵が提供される二次元バーコードが配慮されている。児童は自分のペースで何度でも聞くことができる。 ・5単元ごとに Project Time が設定され、Show & Tell 形式で発表を行う活動となっている。聞く、話す、伝えるという自然な流れになっており、題材は自己紹介、小学校の思い出等の身近な話題を取り上げて、児童が考えを整理しながら意欲的に取り組むことができるよう、よく工夫されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書はA判で、厚さや重さ、ページ数ともに適切である。 ・ユニバーサルデザイン書体が使用されている。また、4線の幅を5:6:5とし、書き込む際のスペースを広げて、ゆとりが感じられるように配慮されている。 ・巻末に、歌詞の一覧や、系統ごとの単語絵カードが収録されており、児童の意欲を喚起する工夫がされている。また、アルファベット練習コーナーが設け、確実に定着できるよう、よく工夫されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動に一貫性があり、児童が学ぶための手順や学習内容が明確である。また、既習表現をイラストで想起し、思考を整理できるようなするなどの工夫がある。単元ごとの活動の流れが分かりやすく、指導者にとって授業の構想が立てやすい構成となっている。 ・単元や年間を通して、アルファベットコーナーで読み書きを繰り返している。ABCの形や順、音にじっくりと親しむことができるような活動が多く設定されている。

教科
外国語

種目
英語

発行者
15 三省堂

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 各学年が複数の単元から成る3つのまとまりで区切られ、各終末にはプロジェクト型の活動が設定されている。最初の単元の導入でめざす姿を把握し、各まとまりの終末でその具現状況を確認して学びを深めることができる構成で、よく工夫されている。 Panorama や Story では、児童になじみのある場面や物語をイラストとともに文字も用いて提示し、聞くこと、話すことの活動を行う際にも文字が目に触れるように配慮されている。また、各単元の終末には、書くことを含むまとめの活動が設定されており、各単元で学んだ表現を使って無理なく自己表現をすることができるよう、よく工夫されている。 各学年の最初に、前学年までに学習したことを振り返るコーナーが位置付いている。また、国語、社会、算数等の学習内容と関連付けた活動が設定され、児童の知的好奇心が高まるように工夫されている。 Listen&Talk のように複数の技能を組み合わせながら、インプットからアウトプットまで行うことができるように工夫され、児童の主体的な学びにつながるよう、十分に配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 教室の外にある標識やポスター等の英語に親しむコーナーや、言葉や文化に対するコラムのコーナーが設定されている。世界の様々な情報に触れることで、児童に英語を学ぶことの意味や面白さへの気付きを促す十分な工夫がされている。 二次元バーコードが随所に配置されており、それぞれの箇所の単語や文の音声を聞くことができる。Panorama は音の出る絵辞典として活用できるなど、児童の知識や関心を高められるよう工夫されている。 Jump において、自己目標を2回設定できるような構成になっており、進んで学習に取り組みたい児童の意欲に応えている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書は AB 判で、厚さや重さ、ページ数ともに適切である。 イラストや写真が大きく、児童にとって分かりやすい工夫がされている。アルファベットがきれいに書けるように開発された4線や、専用の手書き文字書体が使われている。また、カラーユニバーサルデザインが用いられるなど、特別支援教育にも十分に配慮されている。 巻末の Words & Phrases は、イラストとともにカテゴリーごとにまとめ、コミュニケーションを図りやすくする工夫となっている。また、切り離して使える厚紙の別紙付録が用意されるなど、十分な配慮がなされている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップの単元構成が分かりやすく、各単元のねらいが明確で評価もしやすい工夫がある。また、コミュニケーション力の基礎を身に付けられるよう考慮された構成となっている。 高学年の発達段階に合わせた幅広い題材や場面が取り上げられており、情報豊かなイラストとともに会話の場面や状況を提示するなど、豊富で焦点化されたインプットが保障されている。それが児童のアウトプットへの意欲や表現力につながるよう考えられている。

様式 2.

教科
外国語

種目
英語

発行者
17 教出

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 各学年が 9 つの単元で構成されている。各単元の前半では、聞くことの活動が多く設定され、インプットを中心にしながら段階的に話すことや読むこと、書くことへつなげ、4 技能 5 領域の力をバランスよく育むことができるよう、十分に配慮されている。 5 学年の前半では、アルファベットを形や書き方の違いに注目しながら書く活動が設定されている。また、5 学年の後半以降の Read and Write では、読んで内容を理解したり、その英文を参考に自分の考えを書いたりする活動が設定されており、段階的に文字を読んだり書いたりする指導ができるように構成されている。 導入単元 Let's Start Together では、中学年で学んだ語彙や表現を想起させる様々な場面の絵があり、復習が可能である。また、6 学年の後半では、Review の中で、中学校で学ぶ文構成への気付きを促す活動が位置付けている。Read and Act では、道徳や国語で学んだ教材が英語で紹介されており、児童の理解を助け、達成感を感じられるよう十分に配慮されている。 単元の目標が最初に示され、最後には「資質・能力」の 3 つの観点に基づく目標を児童が自己評価できるよう、工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 日本の名所や名物が書かれた資料が多く扱われている。また、Let's Look at the World では、海外の学校の様子や外来語等、外国の言語や文化を学ぶことができるよう、十分に配慮されている。 教科書の目次のページにある二次元バーコードを読み取ることで、導入の動画や、歌、主な活動に必要な表現の音声聞くことができ、家庭学習等で活用することができる。 単元の終末の活動を中心に、自分のことや日本の文化、行きたい国等、児童の興味関心に合わせて、内容を選択して表現ができるよう活動が設定するなど、よく工夫されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書は AB 判で、厚さや重さ、ページ数ともに適切である。 書くときのアルファベットに近い特別なフォントを使用しており、読みやすい。また、4 線の幅を 4 : 5 : 4 とし、大文字も小文字も書きやすくなるよう、よく配慮されている。 巻末に、絵カードやワークシートがミシン目入りで豊富に準備されており、メモ欄や自己評価欄も発表や評価に活用できる。また、作成した My book は中学校での自己紹介等で活用できるように、よく工夫されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 中学年で学びを土台に、単元ごとに明確な目標が示され、4 技能 5 領域の力を育む活動や、児童が自己評価できる場が設定されており、主体的な学びを促し、中学校における学習へのスムーズな接続も配慮されている。 児童にとって身近で関心のある話題や、外国の言語や文化に関する題材や資料が扱われており、児童の主体的な学びや、自国の理解や国際理解を促すことができる。また、イラストや文字、単元の構成等は、児童にとって使いやすく、指導者にとって活用しやすい配慮がなされている。

教科
外国語

種目
英語

発行者
38 光村

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 各学年が複数の単元からなるまとまりで区切られ、各単元の終末には、Fun Time として文字遊びや英語の歌、各まとまりごとには工夫された Review が位置付けられ、指導者だけでなく学習者にとっても学びの段階が分かりやすい構成になっている。4 技能 5 領域がバランスよく扱われており、特に伝え合う活動時には、Response のマークが設定され、反応し合うことを位置付け、相手意識をもたせることができるよう、よく工夫されている。 5 学年の最初には、アルファベットを読んだり書いたりしながら学習する活動が設定されている。その後は文字を指で追いながら読んだり、語句をなぞって書いたりする学習を繰り返し、6 学年の最後は中学校で頑張りたいことを 4～5 文で書く活動が位置付けられている。 Let's Start 単元を準備し、前学年との接続が円滑になされるよう工夫されている。6 学年の最後には、中学校へ向けてのページを設け、中学校への接続を考慮した十分な配慮がされている。 単元の最初に学習目標が具体的に示され、単元の終末で Can-Do リストにシールを貼り付けることによって、単元全体の学習の振り返りができるよう、よく工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 世界 12 か国の本物の小学生が語るメッセージ映像が紹介され、多様な文化や価値観、英語に触れられるように工夫されている。また、伝統的な日本文化だけでなく、現在世界で活躍する日本人の映像も紹介され、児童が日本人としての誇りがもてるよう、よく工夫されている。 二次元バーコードが各ページに位置付けられるとともに、音声や動画の数も多く、家庭での学習での活用できるよう、よく工夫されている。 世界の多様性に気付き、見方・考え方を広げる Review 単元などを設定している。また、単元の活動や Fun Time では、他教科で学んだことを生かして活動ができるよう、十分に配慮されている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書は AB 判で、厚さや重さ、ページ数ともに適切である。 学習内容に合うイラストや写真が掲載されており、分かりやすい。また、オリジナルの書体やユニバーサルデザイン書体、鉛筆で書き込みやすい質感の紙が使用され、学習者の使いやすさが十分に配慮されている。 巻末には分野別の絵辞典や、マーカーで書いて消せるアルファベット練習シート、すごろく、振り返りや評価で使えるシール、ローマ字表や絵カードが付けられ、資料の数が多く、よく工夫されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味や関心を喚起する豊かな内容の題材を扱うとともに、スパイラル式に学習を進めることで、英語を通して児童の心や言葉を使う力、学びたい意欲を育む工夫がされている。また、どの単元も一貫した流れで構成され、指導者用デジタル教科書には「今日のレッスン」も表示されており、授業が行いやすい工夫がされている。 二次元バーコードが多く位置付けられ、児童が家庭で繰り返し映像を見たり音声を聞いたりすることで、英語に触れる機会を増やす配慮がある。

教科
外国語

種目
英語

発行者
61 啓林館

調査項目	意見
1 学習指導要領 (平成29年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに、Pre Unit を含む9つの単元で構成されている。知識及び技能を問う問題や、思考力・判断力・表現力等を働かせる活動がある Review のページが、2～3単元ごとに位置付いている。単元前半がインプットやインテイク中心で、徐々にアウトプットしていく活動が増えていく構成となっており、児童が無理なく段階的に学べるよう、よく配慮されている。 ・5、6学年ともに、読み書きが Let's Read and Write のページで学習できるように位置付けられている。6学年の Activity では、書く活動が中心として取り扱われている。 ・各学年の最初に、PreUnit を設け、前学年までの学習とつながるように工夫されている。また、6学年の後半には、中学校生活や将来の夢に関わる題材も設定したり、各単元内で他教科の学習と関連する題材を取り扱ったりするなど、十分に配慮されている。 ・単元の最初に目標として GOAL が示され、単元の終末に Looking Back が設定されている。目標と評価のつながりが分かりやすく、児童がそのつながりを意識して学ぶことができるよう、よく工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成31年3月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Did you know?のページで異文化について学ぶことができ、内容も児童が興味をもって学べるようなものが多い。また、日本や世界のことを学んだり、発信したりできる工夫があり、自国及び他国とのつながりを意識して学べるよう、十分に配慮されている。 ・二次元バーコードが単元ごとと Word List についており、自宅でも学習することができる。読み上げスピードが1倍だけでなく、2倍から0.5倍まで調整でき、児童のレベルに合わせて活用することができる。 ・単元のまとめとして Activity のページが位置付いている。学んだことをもとに自分のことを伝えたり書いたりする活動を通して、学習の定着を図ることができる。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は AB 判で、厚さや重さ、ページ数ともに適切である。 ・大文字を書いても崩れない 5 : 6 : 5 の 4 線幅の比率で、活用しやすいようになっている。イラストの雰囲気や色づかい、ユニバーサルデザイン書体で見やすくするなど、よく工夫されている。 ・巻末の Word List が目的別に分類され、イラストも示されており、様々な表現活動において活用することができる。絵カードも豊富で、カードごとにミシン目がついており、活用しやすくなるよう、十分に配慮されている。
4 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くことや話すことを中心に単元の学習を始めることで、児童が段階的に学び、定着を図ることができるような構成となっている。また、目標となる姿に向かって意欲的かつ主体的に学べるように、取り扱う題材やコラム等も児童が興味をもつものになるよう、工夫されている。 ・イラストが優しい雰囲気で見やすい点、文字フォントがどの児童にとっても見やすいように考えられている点、4線幅の比率が書く活動に適している点等、児童が抵抗なく学べるよう、配慮されている。

様式 2.

教科
特別の教科 道徳

種目
特別の教科 道徳

発行者
2 東 書

調査項目	着 眼 点
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、食育、国際理解などについて多様な教材で学ぶことに加え、喫緊の課題である「いじめ問題」を全学年で重要事項として取り上げ、いじめを題材として扱った直接的教材と、「いじめをしない、許さない心」を育てるための間接的教材の2つを、ユニットにしており、効果を高める工夫が十分になされている。 ・各学年で問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習が位置付いており、どの学習もバランスよく展開できるように、教材の構成や配列がよく配慮されている。 ・3年生以上では「つながる・広がる」というコーナーが設置され、各教科での道徳性の育成につながる教材や学習活動を取り上げ、関連を図ることができるようにできている。 ・全学年で「重要指導内容」としている内容項目については、繰り返し学習することで、発達段階に応じて系統的に理解を深めることができるようにしている。 ・児童の発達段階を踏まえ、パズル、新聞、漫画等、様々な素材や方法を取り入れ積極的に議論することを促し、児童の多様な考えを引き出す「活動型教材」を開発し、位置付けている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の学習や生活と関連付けて、伝統と文化を尊重することに気付くことができるように、全学年に「付録 つながる 広がる」が位置付いており、3年生では揖斐川町祭りを取り上げている。 ・各学年4教材ずつ、インターネットを通じて学習に役立てるデジタルコンテンツを位置付けてある。 ・教科書に掲載されている二つの発問と、教科書巻末「学習の振り返り」に連動した簡単な自己評価の欄を一枚にまとめたワークシートがついており、「学習の記録」や「学習のまとめ」を設けて、自分の成長が実感できるようになっている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい文字となる振り仮名には、ユニバーサルデザイン書体が採用されており、読みやすさと見やすさに配慮されている。また、低学年では、文節ごとに改行し、分かち書きを取り入れたり、行間をこれまでよりも広く取ったりすることで、読みやすくなるように適切な工夫がなされている。 ・教材ごとに学習のテーマが明示されており、教材名に加え内容項目が子供にも分かりやすい言葉で「学習のテーマ」として示されている。
4 総評	<p>内容項目の系統性や、各学年度ごとの発展性等、主題やねらいに応じた多様な指導方法などにおいて、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度の育成が図られるように配慮されている。今日的な課題に応じる問題を取り上げ、自分との関わりで捉えたり、多面的・多角的に考えたりすることができるように教材の配列がよく考慮されている。</p>

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発行者
II 学 図

調 査 項 目	着 眼 点
<p>1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命の尊さ」を重点内容項目として複数の教材を掲載するとともに、関連する教材には「ともに生きる」マークを配し、自他の生命を尊重する態度から、いじめやそれを取りまく事項を総合的に学び、深められるような配慮がなされている。 ・分冊において「やってみよう」のマークを明示し、児童が対話的な学びである役割演技を通して、道徳的価値について主体的に考える学習活動を位置付けている。 ・学校行事や学校生活を題材にした教材が随所に配されており、児童が自分自身の体験と重ね合わせながら、道徳的価値に気づくことができるように配慮がなされている。 ・学級経営上の大切な時期(4月、6月、11月)に合わせて、周りの人との関係について多面的、多角的に学びを深められる教材を配置している。 ・本冊には、内容項目、主題、発問がなく、児童自身が自ら問題に気づけるようにしているとともに、分冊において、価値把握につながる話し合い活動「かんがえよう」、自己の生き方を振り返る「みつめよう」を設定し、児童の主体的な学習となるよう配慮がなされている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年の教材で「莊川桜」(高山市)を取り上げている他、3～6年のコラム等でふるさと岐阜を愛する態度を育成することに資する写真や資料を豊富に掲載している。 ・各教材の冒頭に二次元コードを付け、タブレット等から授業の導入や話し合い活動で活用できるインターネット上のコンテンツを利用できるよう十分配慮されている。 ・分冊において、児童の学習の過程や成果などの記録を1冊に蓄積でき、同じ内容項目の教材を見開きに配置することで、児童の心の変容や道徳的価値の理解の深まりを把握できるように十分配慮がなされている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において文字が大きく、読み間違いをしにくいユニバーサル書体を使用しており、また、挿絵、写真の大きさやレイアウトも適切であり、見やすさ、読みやすさへの配慮がなされている。 ・児童の携行品に関わる配慮から、教科書の軽量化が図られており、家庭学習に対応できる本冊、分冊の2冊構成になっている。
<p>4 総評</p>	<p>教材やコラム、導入や終末で活用できる分冊の「心のパレット」を通じて多様な考え方に触れ、自らの生き方についての考えを深めることができる教材の構成、配列になっている。使用教材や取り扱い時期において、地域や学校の実態などに即した対応や、各地域に根ざした地域教材を活用する際の教材の入れ替えに対応できる配慮がなされている。</p>

様式 2

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発行者
17 教 出

調 査 項 目	着 眼 点
<p>1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重点テーマ「いじめ」「生命」「情報モラル」を位置付け、現代の子どもや社会情勢に合わせたものが取り上げられている。また、現代的な課題として「食育」「防災」「福祉」などを扱った教材を扱い、多様な見方や考え方を養うことができる構成になっている。 ・これまでの道徳の歴史において、定番とされる教材も各学年に複数取り上げられており、子どもの心を揺さぶる教材も含まれている。 ・問題解決的な学習の教材では、導入時で道徳的な課題をもつことができる書き込み欄があったり、体験的な学習の場合は「やってみよう」のコーナーを位置付けたりと道徳的行為に関わる授業が展開できるよう十分配慮されている。 ・各教材の終末には、「考えよう」「深めよう」というコーナーがあり、基本発問や中心発問の参考になるところが位置付けられており、多面的・多角的な見方や考え方を養うことができるようになっている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6年に「6千人の命のビザ」(杉原千畝)の教材が扱われている。また、コラムとして4年で白川郷を取り上げている。 ・「まなびリンク」があり、「協同学習」「個別学習」「家庭学習」と学習状況に合わせたウェブサイトが位置付けられている。 ・プリントアウト形式のワークシートがあり、自分の考えを書くことができるようになっている。必要に応じて活用でき、学びの足跡として積み重ねていけるようになっている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も右ページから始まり、4～6ページと扱いやすい割り振りがしてある。また、挿絵についても、文章ではわかりにくい場面や心情を考えやすいものが取り上げられている。 ・文字の形や大きさなど、低学年にも読みやすい工夫がされている。とくに低学年では文字がやや大きめで行間も広くなっており、見やすいつくりになっている。 ・各教材の先頭に「主題名」が書かれており、本時に考えたいことが、子どもに分かるようになっている。
<p>4 総評</p>	<p>どの内容項目もバランスよく位置付けられており、系統性や発展性を考えた構成になっている。多面的・多角的な見方を育てたり、問題解決的な学習や体験的な学習をしたりすることができるように配慮されている。それによって、多様な指導展開の工夫ができるようになっている。指導要領改訂の経緯に関わる「いじめ」などの現代における問題に対応した構成になっており、今を生きる子どもの心を育てられるように配慮されている。</p>

様式 2

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発行者
38 光 村

調 査 項 目	着 眼 点
<p>1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題を全学年で重要項目とし、複数の教材で繰り返し学習ができるように教材の配列が工夫されている。また現代的な課題と向き合うために、全学年ユニット形式で構成されており、ユニットを通して多面的・多角的に考えることができるよう十分配慮されている。 ・ 登場人物への自我関与が中心の学習・問題解決的な学習・道徳的な行為に関する体験的な学習がバランスよく展開できるように教材の構成や配列が十分に配慮されている。また、自分との関わりで考えられるよう、多くの教材末において問題解決的な学習に対応できるような問いが位置付けられている。 ・ 2 学年以上には「つなげよう」が設けられており、他教科や日常生活につながるよう配慮されている。 ・ 全学年、年間を 3 期に分け、各期 A B C いずれかの視点に重点を置いて教材が配列されている。D の視点は、年間を通して配列され、適切な配慮がなされている。 ・ 全学年で演じる活動が位置付けられており、「考えよう」の中で記述を促すなど、主体的・対話的な学びに向かう具体的な言語活動や多様な教材の位置づけなどが、十分に配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 年では、杉原千畝をとりあげた教材、高山市を舞台にした教材、5 年では、付録「日本に伝わる伝統工芸」一位一刀彫で資料や写真を取り上げたりして、ふるさと岐阜への愛着が高まるよう配慮されている。 ・ 全学年、全教材において、デジタル教材・デジタル教科書が整備されており、多様な学習展開に活用できるよう配慮されている。また、二次元コードを利用して、オリジナル写真や動画をみることができる教材も準備されている。 ・ 道徳の授業での学びが自覚できるように全学年で発達段階に応じた「学びの記録」が掲載され、評価に生かすことができるように配慮されている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷は鮮明で、発達段階に応じた文字の大きさや行間、重量である。挿絵や写真も見やすく大変効果的に掲載されている。 ・ 写真と文字のレイアウトの工夫やユニバーサル書体の採用など、ユニバーサルデザインに十分配慮している。 ・ 巻末ページには、4 つの視点が明確になるように教材を分類し、教材には内容項目に合わせた主題名が明記されている。
<p>4 総評</p>	<p>内容項目相互の関連性や学年段階ごとの発展性、主体的・対話的な学びに向かう言語活動の充実、主題やねらいに応じた多様な指導方法などにおいて、児童が多面的・多角的に考え、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度の育成が図られるように十分に配慮されている。いじめ問題など時代の要請に応じた現代的な課題を取り上げ、自分との関わりの中で考えることができるような内容構成や配列を工夫することにより、自己の生き方を考え、よりよく生きるための道徳性を養うことができるよう、十分に配慮されている。</p>

教 科	種 目	発行者
特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	116 日 文

調 査 項 目	着 眼 点
<p>1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「人との関わり」を重点テーマの一つとし、各学年年間 3 回の「いじめ防止」に関わる教材をユニット形式で取り上げている。今日的な課題に対応し、安全の確保、情報モラル、社会の持続可能な発展などに関する教材も十分取り上げられている。 ・各学年で、読み物教材の登場人物に自我関与する学習や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の内容が取り上げられており、「学習の手引き」では、体験的な学習や問題解決的な学習の手法を用いた指導例が丁寧に示されている。 ・道徳的価値を深く、多面的・多角的に考えられるように、「心のベンチ」を位置付け、教材と関連した内容や活動が取り上げられている。他教科等との関連が巻末の一覧表に明示されている。 ・児童の発達の段階を考慮し、例えば「人との関わり」を考える教材では、低学年では身近な友達との関係を軸に善悪や親切について考える教材、中学年では仲間や学級内での人間関係について考える教材、高学年では集団内での役割を考える教材などが取り上げられている。校種間の連携にも配慮されている。 ・「考え、議論する」道徳を実現するために、豊かな学びの参考例として「学習の手引き」が設けられている。また、別冊の「道徳ノート」には、資料に関わる問いが示されており、考え、書き、話し合っ て学びが展開されるよう十分配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと岐阜に関する教材として、郡上踊りや杉原千畝が取り上げられている。また、岐阜市出身の災害救助犬の訓練士や養老町のペット職人を取り上げた教材も掲載されている。 ・複数の教材で教科書デジタルコンテンツが用意されており、教材に関連した画像や動画を関連の HP にリンクして選択できるようになっている。 ・別冊の「道徳ノート」では、中心となる発問に対して考えを書き込む記述欄や自由に活用できる欄が設けてあり、道徳の時間における学習状況を継続的に把握できるようになっている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさ、字間、行間、書体、罫線や囲みの使い方等レイアウトが工夫され、カラーバリアフリーも含めたユニバーサルデザインが考慮されている。 ・別冊のノートは教科書に挟んで収納できるようになっている。題字の横に、あらずじと登場人物が示してあり、理解を助けている。
<p>4 総評</p>	<p>道徳科の時間の学びが見通せるように、読み物資料には、導入のための発問、考え、深める発問、自分を見つめ、生かすための 3 つの発問が示されており、学びの流れがわかるよう十分配慮されている。発問とともに、体験的な学習の手法や問題解決的な学習の手法なども例示され、考え、議論する道徳の授業になるようによく工夫されている。別冊の「道徳ノート」を活用して、自分の考えや気づき、学んだことを書き留め、積み上げていくことで、成長を振り返ることができるようになっていることも特徴的である。</p>

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発行者
208 光 文

調 査 項 目	着 眼 点
<p>1 学習指導要領（平成 29 年告示）に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代的な課題である「命を輝かせる」「いじめをうまない心」「情報社会を生きる」について、全学年に配置されている。1, 2 年では、クイズ形式を取り入れてネットマナーについて考えるなど、発達段階を考慮した内容である。 ・ 各資料の「広げる」において、道徳の時間の学習を読書活動につなげたり、具体的な活動や調べ学習につなぐ活動を提案したり、日常活動につなげたりするなど、学校の教育活動全体を通して、道徳教育が計画的・発展的に実施できるようよく配慮されている。 ・ オリエンテーションの「考える」で、体験することの重要性に児童が着目できるように提示されている。また、コラム「みんなでやってみよう」を全学年に配置し、よりよい人間関係の構築に必要なコミュニケーションスキルを高める体験的な活動を提示している。 ・ 「生命の尊重」を重点的に学ぶ構成で、複数時間扱うことで、同じテーマを異なる視点から考えたり、同じ視点で学びを深めたりするなど、発展性がある配置である。 ・ 資料は、「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」の4段階の紙面構成である。内容項目の4つの視点をマークで表したり、キャラクターが考えるためのポイントや大切な見方を投げかけたりするなど、主体的・対話的な学びが展開されるように配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画（平成 31 年 3 月策定）に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜県に関連する資料として、6年「六千人の命を救った決断—杉原千畝」及び、白川郷の写真が掲載されている。また岐阜県版道徳ノートには、道徳で学習した内容とつなぐことができるように、郷土の自然・文化・建物・人物など41事例が掲載されているなど十分配慮されている。 ・ 学習効果を高めるデジタル教科書やデジタル教材が準備されており、授業の中で活用することができる。 ・ 巻末に自己評価シート「学びの足あと」が掲載されている。低学年は、顔の表情を描き、3年以上は、気持ちを矢印で表したのち、その理由を書くなど、発達段階を考慮した評価の工夫がなされている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書は、A4に近い版型を使用し、スペースが大きく見やすい紙面になっており、教科書への書き込みがしやすい配慮がある。 ・ 製本の際には、はがれにくいのりを使用するとともに、表紙に筋を入れ、頻繁に開閉しても壊れないように工夫されている。 ・ 前学年までに学んだ漢字が使用されていて、読みの困り感がないように配慮されている。また、全学年の資料には、漢字にふりがなが付いている。 ・ 特別に支援が必要な児童に配慮した内容や構成、デザインになっている。
<p>4 総評</p>	<p>オリエンテーションのページでは、学習の流れをイラストで分かりやすく示したり、コミュニケーションスキルを伸ばす活動を取り入れた「みんなでやってみよう」を各学年に配置したりするなど、特別支援教育に対する配慮がある。情報モラルやいじめへの対応など、これからの時代を生きていく子どもたちが、様々な角度から考えることで、道徳の学びを日常へとつなぐ配慮がされている。コラム「ちびまるこちゃんと考えよう」は、全学年に掲載され、よりよい学校生活をまるこちゃんと一緒に考えるなど、子どもたちが興味深く学ぶ工夫を取り入れている。</p>

様式 2

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発行者
224 学 研

調 査 項 目	着 眼 点
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラルやキャリア教育など今日的な課題も積極的に取り入れたり、長く活用された確かな教材と考える意欲を生む新しい教材を配置したりして、豊かな授業を創造できるような工夫がされている。 読み物教材の登場人物に自我関与する学習を中心にして問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習がバランスよく展開できるようになっており、自己を見つめ自分のよりよい生き方につなげられるよう、多面的・多角的に考えを深めることができるようによく工夫されている。 いのちや生き方について重点テーマとして取り上げ、複数教材を繰り返し学ぶ場を設けたりユニット学習も位置付けたりすることで系統性が図られ、学年の発達段階に応じて視野を広げるようなテーマを取り上げ発展性がある。 教材名の冒頭に主題名を記載していないため、子供は素直な心で教材に向かうことができ、主体的な学びが可能となる。また、自分の体験や考えから想起できる内容が多く、自分の考えを伝えやすく、仲間との対話もしやすいので、考え議論することに近づけるようよく配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容	<ul style="list-style-type: none"> 3 年で「高橋尚子物語」、5 年で岐阜県出身の岸武雄の詩を教材として取り上げている。また、5 年で世界遺産の白川郷・6 年で岐阜市のポスターが紹介され、ふるさと岐阜への誇りと愛着をもつことができるよう配慮されている。 1 年の始めに自分を見つめ、1 年後に自分の学びを振り返り成長が感じられるような場が設定されている。また、それぞれの教材で何をどのように考えたかを記載する場があり、子供の学習状況や道徳性についての成長の様子を具体的に把握することができ、指導に生かすことが可能となっている。
3 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> 資料がコンパクトにまとめられているものがあり、全体的に軽く、文字もユニバーサルデザイン書体を採用し、大きく読みやすくなっている。印刷には環境負荷の小さい CTP 方式、製本はリサイクル性の高い PUR のりを使用している。 イラスト・写真・マンガが教材の特徴に合わせて位置付けられ、集中して教材に向きあえるような工夫がされている。
4 総評	<p>自我関与する学習や体験的な学習を通して多面的・多角的な考え方を育て、人間としてよりよく生きようとするために自分の意志や判断に基づいて選択する力が付くよう配慮されている。多種多様な教材を位置付け、今日的な課題を盛り込んで、重点的な内容項目を繰り返し取り上げることで、自己を深く見つめ、よりよく生きようとするにつなげるよう工夫されている。</p>

教 科
特別の教科 道徳

種 目
特別の教科 道徳

発行者
232 廣あかつき

調 査 項 目	着 眼 点
<p>1 学習指導要領 (平成 29 年告示) に示された内容 「何ができるようになるか」 「何を学ぶか」 「どのように学ぶか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止と人権尊重に重点を置き、情報モラルや社会の持続可能な発展、食育やキャリア教育に関わる教材を多く取り上げている。また、一面的な扱いを避け、多様な見方や考え方ができるように配慮されている。 道徳教材として長く読み継がれてきた名作教材や感動教材を大切にしつつ、問題解決的な学習を促す教材や体験的な学習を促す教材も積極的に多数掲載するなどの配慮が十分なされている。 別冊「道徳ノート」には、毎時間の学びを記録する以外にも、ボランティアなどの体験活動や家族と一緒に考えたこと、地域の人に尋ねたことといった内容を取り上げている。 総則の指導内容の重点化を踏まえて A (1)、B (6)、D (17) を重点内容項目とし、全学年各 3 コマを配列している。また、その一部は 2 時間連続の重点ユニットで扱うこととされている。 「学習の道すじ」に示されている問い掛けは、主に自我関与を意図したものであり、各教材に「学習の道すじ」が示されているため、何について考えたり話し合ったりするのが明確になるように配慮されている。
<p>2 岐阜県教育振興基本計画(平成 31 年 3 月策定)に示された内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜を題材とした教材は、3 年「きっとできるー高橋尚子」がある。また、本美濃和紙や白川郷が写真資料として掲載されているなど配慮されている。 デジタル教材では、児童の興味を促し、生活を振り返ったり学びを深めたり、終末においては余韻をもって授業をしめくくることができる工夫がされている。HP 上で、教材に関わりのある情報を見ることができるなどの配慮もされている。 児童の学習の記録を蓄積することにより、評価の妥当性や信頼性を検討することを容易にしている。また、組織的・計画的な評価の取り組みの推進に役立つように、本冊と別冊「道徳ノート」の 2 分冊で構成する工夫が、十分なされている。
<p>3 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさは各学年に応じて適切である。AB 判で紙面にゆとりがある。色の識別のみによらず、文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるよう考慮されている。 別冊は筆記特性を重視しながら軽量化を図り、持ち運びの負担軽減の点で工夫されている。また、別冊は本冊巻末に収納できるようになっている。
<p>4 総評</p>	<p>掲載されている教材文は今までよく扱われたことのあるなじみのあるものが多く、児童が感動を覚えるような充実した内容となるよう配慮されている。各教材文の「見出し」や「学習の道すじ」では、児童が教材文に自我関与しながら道徳的に深く考えられるように方向付ける配慮がされている。別冊ノートがあり、道徳の授業の学習記録や日常生活で道徳的な考えを記録でき、自己の心の成長を客観的、長期的に見つめられるよう配慮されている。</p>